

ホームページ作り学ぶ 熊本高専が育成講座



ホームページ作りやネットのウイルス対策などを学ぶ参加者＝合志市の熊本高専

合志市の熊本高等専門学校は5日、インターネットのホームページ作りやウイルス対策を学ぶ講座を開いた。新たな産業づくりと雇用創出を目指す文部科学省の地方創生推進事業「C O C +（プラス）」の一環で、県内8の大学や高専が自治体や企業と連携してそれぞれ事業を展開する。

同講座はネット上のマーケティングやセキュリティー対策に詳しい人材を育成するのが狙い。学生や会社員、県警のサイバー犯罪対策課などから約30人が参加し

た。

熊本市北区のホームページ制作会社「K A N T A !（カンタ）」の神戸洋平社長（34）が、制作ツールを使ったホームページの作り方を指導。検索上位に表示される仕組みなども紹介した。安全対策ではパスワードの定期的な変更を勧めた。

受講した御船町の陶芸家、津金日人詩さん（43）は「窯元や町のPRをはじめ、熊本地震の復興支援の呼び掛けに活用できないかと思って参加した。ホームページを作つて情報を発信したい」と話した。

講座は全3回で、既に参加申し込みは締め切っている。
(宮崎あづさ)